

平成23年度 学力・学習状況調査の結果について（公表）

福岡市立香椎第3中学校

校長 古賀 良和

平成23年9月27日に、3学年において「福岡県における学力・学習状況調査」を実施しました。この結果について、本校の結果の概要報告及びその結果を受けた取り組みやお願いについてお知らせします。

○ 調査の概要について

福岡県では、小学校6年生と中学校3年生を対象に県下一斉に実施されました。

調査の目的は、児童生徒の学力の状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育の成果と課題を明確にし、学力向上の取り組みを充実させることにあります。

内容は、教科（国語・数学）と学習意欲や学習方法・学習環境などに関する調査です。

○ 本校の調査結果及び取り組みやお願いについて

1 国語に関する調査について

A（主として知識に関する問題）、B（主として活用に関する問題）の両方、全内容項目について全国・県平均を上回り、良好な状況と言えます。

ただ、問題の種類別に回答を見ていくと、選択式に比べ、記述式の回答が不十分な面があり、文章表現の力をつける取り組みが必要です。

この点について、力を入れていきます。

2 数学に関する調査について

A（主として知識に関する問題）、B（主として活用に関する問題）の両方、全内容項目について全国・県平均を上回り、良好な状況と言えます。

しかし、計算力の平均が他項目に比べて低くなっています。

これは、一人一人に確実に計算の力が身に付いてないことを表しています。学習プリント等使いながら、計算力をつける場を多く設け、力をつけさせていきます。

3 学習意欲や学習方法・学習環境などに関する調査について

- ・ 日常生活に関すること

県平均を良好に上回っている項目は、テレビやビデオの視聴時間、テレビゲームの時間が少ないなどです。これは、家庭での指導が行き届いていることが伺えます。

逆に下回っている項目は、毎朝の朝食摂取が少ない。定期的な就寝起床時刻が不規則なことなどです。基本的な生活習慣を十分身につけさせる必要があります。

携帯電話での通話やメールの時間も、県平均を上回り、全国平均も大きく上回っています。携帯電話については、その必要性も含めて、家庭でもぜひ話し合いをしてほしいと思います。

朝食摂取と関連して、夕食を家の人と一緒に食べるの項目も、平均を大きく下回っています。毎日の食事のとり方について意識していただきたいと思います。

ただ、家族との会話は平均を上回っています。今後も、子ども達の話をよく聞いてやっていただきたいと思います。

- ・ 学習に関すること

国語、数学、総合的な学習の時間、どれも苦手意識が県平均より高いです。

また、学習時間に、自分の考えを発表する機会や話し合いの機会など、少ないと感じている割合が県平均より高いです。

これらのことから、生徒が興味・関心をもって学習に取り組める授業の工夫に力を入れていく必要性を感じています。今後努力していきます。

一方、作文や説明の文章を書くことについては、県平均より苦手意識が低いです。

また、国語、数学ともに、ノートに考えをまとめること、最後まで問題を解くように努力することについて、その意識が県平均より高いです。

この良さについては、さらに伸ばしていくようにします。